

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、町民の皆さまに謹んでお祝いとお慶びを申し上げます。

これまで、私の政治信条である「公平・公正・誠実・思いやり」に基づき、常に初心を忘れることなく、地域の声に直接耳を傾ける機会を設けてまいりました。これからも、町民の皆さまお一人お一人の声に真摯に向き合いながら、困っている方に手を差し伸べられる行政であり続けたいと、強く思っています。町民の皆さまと「信頼」で結ばれた行政の責任者として、山積する行政課題に対応してまいります。

昨年は、新型コロナウイルスの接種をはじめ、感染拡大防止対策にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。現在、来たる3回目のワクチン接種に向けた準備を進めております。

感染防止対策の徹底と、地域経済の立て直しに全力で取り組むとともに、町民生活の安定を図るため、米価下落により深刻な影響を受ける稲作農家への支援や、所得に応じた灯油価格高騰への支援などを行います。

また、昨年9月には、会津高原星の郷ホテルがオー

プンしました。「幾億幾千の星々に出会える山郷のプライベートルゾート」をコンセプトに、地域観光の核として、町を訪れる方や町民の皆さまに、愛され続ける施設を目指してまいりますので、ぜひご利用ください。

さらに、昨年から建設を進めている「木の町コミュニティ館（仮称）」の名称が「みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション（愛称・きとね）」に決定し、いよいよ4月にオープンを迎えます。「南会津町Ⅱ木の町」を広く発信し、森林・林産業振興の拠点施設という大きな役割を果たしてまいります。

本町を取り巻く、基幹道の整備状況に目を向けると、現在整備が進められている会津縦貫南道路や国道289号田島バイパスに加え、栃木県日光市へと通じる栃木西部・会津南道路についても、国の直轄事業による改良工事が決定しました。新潟県三条市へとつながる国道289号八十里越道路は、令和7年度の開通を目指して工事が進められています。新たな動きを交流人口や関係人口の拡大に結び付け、中心市街地の活性化を進めてまいります。

これらを踏まえ、第2次南会津町総合振興計画の理念である「ひとが『集まる』『まち』『ひとを』『育む』『まち』『みんなが『輝く』『まち』を実現するため、町民の皆さまとの協働により、まちづくりに取り組んでまいります。

結びとなりますが、本年が町民の皆さまにとって、よりよい1年となりますことをご祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

南会津町長
大宅宗吉

会津高原たかつえスキー場山頂からの眺望
(スノーシューハイク)